

R 6 年 7 月 1 4 日 (日)

旭西東地域活動委員会で
行ってきました！



紀ノ川農協 トウモロコシ収穫体験



紀ノ川農協さんのお話

現在の農業が抱える課題として、「地域農業の担い手不足」と「生産者の高齢化」があります。

特に、地域の農業従事者の減少は新規就農者をはるかに上回り5～10年後になると、農業従事者は現在の半分になると考えられています。

(和歌山県の基幹的農業従事者は、年間約100人の新規就農者がいる中、1000人減少している)

紀ノ川では、地域の遊休農地や空き家を活用した新たな事業を立ち上げ人材の育成に取り組みます。

その入り口として、紀ノ川丸ごと体験、今回はトウモロコシ収穫体験を企画されました。



去年までは遊休農地として何もなかったところに、今年は紀ノ川農縁隊(わかやま市民生協)さんが播種～収穫までの一連の作業を成されました。

農地に着くと、紀ノ川農協の方達にトウモロコシの収穫の仕方を丁寧に教えていただきました。

- ①茎を片手でしっかり掴む
- ②もう片方の手で房を持ち、手前に引き茎からはがすように収穫する
- ③一度引いた房は必ず採りきってください

※とうもろこしのヒゲを軽く引っ張ってスポッと抜けたら虫食いの可能性がある。



畝(うね)と畝の間が狭く、前日雨が降っていた為ぬかるんでいた畑の中は、慣れない私たちには中に入って収穫できるととうもろこしを見つけるのが大変でした！
長靴をはいたり靴をビニール袋でカバーしたりして頑張って収穫しました。



- ・畑や周りに生き物が沢山いて薬などあまり使わずに栽培されているんだろうなと思いました。
- ・畝(うね)の間が狭くて収穫する10本を探すのが大変だったけど、頑張って取れました。
- ・虫がいて「キャー」ってなったけど収穫は楽しかったです。
- ・採れたてのとうもろこしを家で茹でて食べたらとても美味しかったです。

